

平成 26 年度 小中連携「9 カ年を見通した小中連携の在り方」

～ 城南中学校区での取り組み ～

◆校区内の共通課題認識

- ・学習規律、基礎学力の確実な定着が必要である。
- ・規範意識を育むことが必要である。
- ・将来への夢、希望を抱かせることが必要である。
- ・欠席者、遅刻者を減少させることが必要である。
- ・社会に適応できるスキルが必要である。

◇中学校区教育目標

- ・自分自身の将来への夢や展望を抱くことができる態度の育成
- ・学習習慣及び基礎学力の確実な定着を目指した取組の推進
- ・規範意識を育む取組の推進

《城南中学校》通学区域:小倉北区、小倉南区

・進路への意識高揚

高校教師による出前授業、大学生による勉強会、高校体験学習

・確かな学力の育成

興味・関心を高める授業、少人数授業の実施(国語科・理科・英語科)、学力ステップアップ(朝自習・放課後学習)、試験チャレンジタイム(定期考査前の質問教室設置)

・人間関係づくり

学級開きの指導案作成、ストレスマネジメント教育の研修、生徒理解研修、ソーシャルスキルトレーニング研修

《藍島小学校》

通学区域:小倉北区

・環境教育

「スナメリウォッチング」
自然環境をテーマ「ふるさとタイム」の取組

・学力向上

研究主題「自立した学びができる子どもの育成」

小・中学校協働の取組

《小中連携の取組》

【中一ギャップ解消】

- 中学校授業・部活動体験(年3回)
- 中学校入学説明会(全市一斉)
- 夢をつかもうプロジェクト(コンサート実施)
- 学年末小中連絡会(小学校卒業生担任と)

【学力向上】

- 授業研究会(研究授業参観)
- 学力向上プロジェクト
(小学校卒業生学年末課題提供)

【生活習慣の定着、保護者啓発】

- 学習・生活のてびき書(全児童配布)
- 小中連携に関するHP更新

【人間関係づくり】

- 仲間づくり
(エンカウンター、ソーシャルスキル等)

【小中連携推進指導・助言】

- 小中連携スーパーバイザー 福岡教育大学副学長 大坪靖直教授

【生徒会、児童会】

- いじめ0運動
- リーダー研修会

【教職員の連携】

- 三校合同研修会(年度始め)
- 職員連絡会
- レクリエーション交流
(ソフトボール、バレーボール)
- 生徒指導会議
(生徒指導主任会議、児童生徒支援会議)
- ケース会議(SSW、SC)

【地域との連携】

- 交流活動(アユ放流祭、紫川清掃)
- 花いっぱい運動
- 三校合同清掃

《城野小学校》通学区域:小倉北区、小倉南区

・学力向上(テーマ:算数科)

重点領域:「数と計算」「図形」

・朝自習, 補充学習

朝の10分間音読タイム(月)
読書タイム(火、金)、計算タイム(木)
放課後教室

・音読の取組

音読暗唱ブック「ひまわり」の活用

・学習規律, 生活習慣の改善

家庭生活・学習がんばり習慣(第2週)
学習・生活のてびき書の活用

・PTAとの協働

読書タイム(火)の読み聞かせ
あいさつ運動

・地域との協働

じょうの夏祭り、敬老会への参加

《今町小学校》通学区域:小倉北区

・学力向上(主題:国語科)

研究主題「自分の考えをもって読む子どもを育てる国語科学習指導の在り方」
文章をすらすら音読できる児童
文章を読んで自分の考えをもつことができる児童

・学力アップ

できる自分に出会う「放課後まなび教室」
「算数漢字道場」「ぐんぐんタイム」の実施

・人間関係

人間関係プログラムの計画的実施

・生活習慣の改善

生活・家庭がんばり表の取組での意識づけ

・学校評価システム

全教職員参加の学校評価による具体的改善策立案